

# めじろむつみクラブ（MMC）会報

【第16号】 2010年(平成22年)1月1日発行

特定非営利活動法人（NPO）  
めじろむつみクラブ（MMC）事務局  
住所：八王子市めじろ台2-37-12  
tel：080-1038-6875  
<http://www.hachioji-mmc.com/>

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

心配された新型インフルエンザも目下小康状態、でも季節的にはこれから寒さも本番、十分にご自愛下さい。そして今年も前向き人生で乗り切りましょう。

今年9年目を迎えるNPO法人めじろむつみクラブ（MMC）は、街全体が高齢化もあって、会員登録数も130名を超える見込みです。

主事業の家事支援の依頼件数も着実に増え続け、依頼の内容も多岐に亘っています。どんなことでもご相談下さい。今年も新たな気持ちで、地域で安心と信頼されるMMCとしてご期待に応えたいと思っています。

去る11月に「趣味の作品展」、また街を明るくする世代間交流を目的とした中央大学・落語研究会による

「めじろ寄席」を12月に開催しました。後段をご覧ください。



（理事長 高橋光男）

## 1. 第五回趣味の作品展を開催

「MMC趣味の作品展」も節目の回を迎え、結果によっては真価が問われることでもあり、担当スタッフの期待と不安の中での幕開けでした。初日雨模様、二日目快晴と対象的な天気の中、開始とともに順調に来場者数が伸び、過去最高の来場者を記録して不安は一掃されました。

今年は新規出展者の参加と幅広い作品の収集に力を注ぎました。書道・絵画・写真など各分野で入賞された作品、チームワークの賜物と思わせるグループ作品、趣味の世界を超えるレベルの高い作品、作り手の素朴な思いが伝わる作品など、感動と称賛の言葉が多く寄せられました。

喫茶コーナーでは久しぶりの出会いに、歓談の花が咲き、作品展ならではの光景が見られ、親睦の輪が広がりました。出展者・鑑賞者・準備作業者が一体となり、まさに「MMC」が目指す文化を通じて地域交流が図れた二日間でした。

来年も更なる充実した作品展を目指し、反省点を踏まえて対処していきます。ここに改めてご協力とご支援を戴いた皆様方に心から厚く御礼申し上げます。

☆ 概要と結果 11月14日（土） 午前9時～午後5

・開催日時 時

・会場：めじろ台第1会館

・展示品：俳句、絵手紙、造形粘土、押し絵、ちぎり絵、  
人形、木彫り仏像、手芸品、生け花、  
刺しゅう、木工、ひょうたん飾りなど

・出展者：66名、 ・展示品数：99点、 ・来場者：320人



（地域交流事業担当）

## 講座予定

3月6日（土）には皆様に興味のある話題についての講演会を開催予定です。

講演内容が決まりましたらチラシやホームページでお知らせします。（講座開催事業担当）

## 2. 「2009めじろ寄席」今年も好評裡に終わる

日時 : 平成20年12月14日(日) 13時30分~15時10分

場所 : めじろ台第1会館

出演者 : 中央大学・落語研究会メンバー4名

入場料 : 300円

昨年好評だった中央大学・落語研究会(落研)3人による

「2008めじろ寄席」に続き、今年も同大学・落研メンバー4人を招いて開催しました。



### ①「狸の鯉」(ポン亭“リング”):(ぼんでい りんぐ・女性噺家)

池に落とされそうになった子狸の恩返しの話。子狸は両親に言われて恩人(八公・はちこう)の家に行く。八公は、兄さんの赤ん坊の誕生祝いということで、狸が化けた鯉を持参する。

### ②「宗論」(しゅうろん)(柴咲 濃):(しばさき こう)

「宗論はどちら負けても釈迦の恥」。旦那は根っからの浄土真宗、若旦那(孝太郎)はキリスト教。二人の間で宗教論争。間に入った番頭。最後の一言が意味深。

### ③「壺算」(三優亭 優0):(さんゆうてい ゆうれい)

少し間の抜けた男。一荷の水がめが壊れ、二荷の水がめを女房よりたのまれ、兄貴分と一緒に瀬戸物屋へ。一荷のかめ3円50銭を負けさせて3円で買う。担いで一回りして、再び瀬戸物屋へ。買いたいのは二荷のかめだと。これはいくらかと聞かれた瀬戸物や……。どうしても算盤の合わない話。

### ④「牛ほめ」(風流亭風鈴):女性噺家

典型的な与太郎話し。20歳になった与太郎。権田原の佐平おじさんが家を新築。親父に教えられて褒め言葉の言上に出向く。「置は備後の五分縁」と言うところを「置は貧乏のぼろぼろ」などちぐはぐ。おじさんが気に病んでいるという台所の柱の穴。気にするなと与太郎。台所だけに秋葉様の札を貼りなさいと。おじさんに褒めてもらってこころで止めておけばよかったのに。飼っている牛を見て、「牛のお尻に穴が」と与太郎。「あの上から秋葉のお札を貼りなよ」と。おじさん「馬鹿! そんなことしたらバチが当る」。与太郎「いやあ、穴が隠れて屁の用心」。

### ⑤大喜利

噺4題が終わって、会場からお題頂戴の形での大喜利。

\* 怖いものだが怖くないように言い換える・幽霊など。 \* こんな〇〇は嫌だ・忘年会など  
出演者4人が四苦八苦する場面もあったが、先ずは無難に切り抜けた。今年の寄席も50人を越す来場者の笑いの渦で終わる。会場設営に取り組んで戴いた会員皆さんに改めて感謝します。

## 3. 新会員の紹介

8月31日以降12月31日までの新会員は庄司照代、高根恭子、湯浅好子、C.D. ガーディナー、鈴木キクエさんの5名です。

会員総数は21年度会費納入者と新会員を合わせて129名になりました。



第1会館フェンス取付

## 4. 事務局便り .. 21年度作業状況(12月末現在)

(1) 生活支援事業は、作業件数79件(前年同時期73件)、金額面では当初計画の113%に達しています。

(2) 地域交流事業の有償作業は、作業26箇所(前年同時期27箇所)、金額面では当初計画の98%に達しています。

### — 新春NEWS —

かつてめじろ台2丁目に在住した直木賞作家・重松清氏の著書「定年ゴジラ」が11月に新宿紀国屋サザンシアターにて文学座により上演されました。

この演劇は、めじろ台地域をモデルに会社定年後のサラリーマンの日常生活、地域活動への取組みをユーモアたっぷりに描いたものです。

MMCが「私の街の定年ゴジラたち」写真展に応募した結果、見事優勝し記念の色紙を頂きました。